

## 令和7年度「いわて新農業人チャレンジファーム」第5回研修を開催しました！

第5回の研修は、令和7年5月23日（金）と24日（土）に雫石町南畑のコテージむらにおいて開催しました。

今回は、種子と種まき、オクラの栽培、ねぎの栽培についての講義と、オクラのは種、ねぎの定植などの実習を実施しました。

種子と種まきの講義では、種子の形態と発芽の条件、セルトレイを使用した育苗などについて指導員から解説しました。受講生は、実際に種子を手にとって観察し、種子に薬剤などがコーティングされている理由や、は種時及びは種後における管理方法などを学びました。

休憩の後の実習では、初めに、露地ほ場においてオクラのは種を行いました。施肥からマルチの敷設までは種の準備を受講生が手分けして作業したあと、オクラの種を5～6粒ずつ畦へ蒔きました。このとき、講義で指導員から説明のあった、覆土して鎮圧することを意識して、蒔き忘れが無いよう、受講生同士で確認し

ながら作業を終えました。

次に、ねぎの定植を実施しました。チェーンポット苗を使用していたのですが、初めて見る受講生も多く、興味深そうにチェーンポット苗の構造を観察していました。15cmほどの植え溝を掘り、紙製のチェーンを切らないよう注意して、ねぎの苗を定植しました。

最後に、セルトレイと育苗培土を使用した土詰めの手順について、指導員が実際に実演しました。育苗には専用培土を使用することや培土をあらかじめ水で湿らせる等の理由を説明しながら実演し、受講生からは、「種まきの注意点や方法が良く分かった。」などの感想が上げられました。

次回の第6回研修は、令和7年6月6日（金）及び7日（土）に、雫石町南畑コテージむらにおいて開催します。講義では、栽培管理②及びさつまいもなどの実習野菜の解説と、さつまいもの植え付け作業などを実施予定です。



講義「種子と種まき」の様子



オクラをは種する受講生



ねぎのチェーンポット苗を植え溝に定植する受講生



指導員からセルトレイへの土詰め手順を聞く受講生